

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年2月22日(2018.2.22)

【公表番号】特表2017-509095(P2017-509095A)

【公表日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2016-573643(P2016-573643)

【国際特許分類】

G 06 F 3/0484 (2013.01)

G 06 Q 10/06 (2012.01)

【F I】

G 06 F 3/0484 150

G 06 Q 10/06

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータプログラムであって、前記コンピュータプログラムがプロセッサによって実行されると、前記プロセッサに自動可変ズームを実行させ、前記ズームは、

ユーザインターフェイス内にプロジェクトプランタイムラインを表示するステップを含み、前記プロジェクトプランタイムラインは、1つ以上のタスクと、1つ以上の時間単位を含むタイムラインとを含み、

前記表示されたプロジェクトプランタイムライン上に自動可変ズームを呼出すための指示を受信するステップと、

条件を受信するステップと、

前記条件に基づいて前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の時間単位についての1つ以上のスコアを計算するステップと、

前記1つ以上の計算されたスコアに基づいて前記プロジェクトプランタイムラインの1つ以上の部分についてのズームレベルを調整するステップとを含む、コンピュータプログラム。

【請求項2】

前記ズームはさらに、

前記ユーザインターフェイス内において前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の部分に対応する1つ以上のマーカを表示するステップと、

前記1つ以上のマーカのうちのマーカのドラッグを含むユーザ対話を受信するステップと、

前記マーカの前記ドラッグに基づいて前記マーカに対応する前記プロジェクトプランタイムラインの一部のズームレベルを調整するステップと、

前記プロジェクトプランタイムラインの他の部分のズームレベルを自動的かつ比例的に調整するステップとを含む、請求項1に記載のコンピュータプログラム。

【請求項3】

前記ズームは、可変ズームプロファイルとして前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上のズームレベルを保存するステップをさらに含む、請求項1または2に記載

のコンピュータプログラム。

【請求項4】

前記ズームは、ユーザ対話に応じて前記プロジェクトプランタイムラインの付加的部分についてのズームレベルを調整するステップをさらに含む、請求項1～3のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項5】

前記ズームは、ユーザ対話に応じて前記プロジェクトプランタイムラインの一部についての元のズームレベルを回復させるステップをさらに含む、請求項1～4のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項6】

前記ズームは、ユーザ対話に応じて前記プロジェクトプランタイムラインのすべての部分についての元のズームレベルを回復させるステップをさらに含む、請求項1～4のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項7】

前記条件は、1セットの予め規定された条件から選択される、請求項1～6のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項8】

前記1セットの予め規定された条件は、時間単位ごとのタスクの総数、時間単位ごとの高優先順位タスクの総数、時間単位ごとのマイルストーンタスクの総数、時間単位ごとの、リソースに割当てられたタスクの総数、時間単位ごとの、過剰に割当てられたリソースの総数、または、時間単位ごとの、容量が割当てられていないリソースの総数、のうち少なくとも1つを含む、請求項7に記載のコンピュータプログラム。

【請求項9】

前記条件はユーザによって規定される、請求項1～8のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項10】

前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の時間単位についての前記1つ以上のスコアを計算するステップはさらに、

前記条件に基づいて前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の時間単位についての1つ以上の生スコアを計算するステップと、

前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の時間単位についての1つ以上の範囲スコアを計算するステップとを含み、時間単位についての範囲スコアは、前記時間単位についての生スコアと、前の時間単位についての生スコアと、後の時間単位についての生スコアとの合計を含み、

前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の部分についての前記ズームレベルを調整するステップは、前記1つ以上の計算された範囲スコアに基づいて前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の部分についての前記ズームレベルを調整するステップをさらに含む、請求項1～9のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項11】

前記1つ以上の計算された範囲スコアに基づいて前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の部分についての前記ズームレベルを調整するステップはさらに、

前記プロジェクトプランタイムラインのうち最高の範囲スコアを有するいくつかの時間単位を選択するステップと、

前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の時間単位についてのズームレベルをズームアウト係数ずつ下げるステップと、

前記プロジェクトプランタイムラインの前記選択された時間単位についてのズームレベルをズームイン係数ずつ上げるステップとを含む、請求項10に記載のコンピュータプログラム。

【請求項12】

スキューリティ係数（「SF」）が規定され、

選択されている前記時間単位の数が、「 $1 / (1 + SF) * \text{前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の時間単位の総数}$ 」に実質的に等しく、

前記ズームアウト係数は $1 / SF$ に等しく、

前記ズームイン係数は SF に等しい、請求項11に記載のコンピュータプログラム。

【請求項13】

自動可変ズームを提供するための、コンピュータによって実現される方法であって、

ユーザインターフェイス内にプロジェクトプランタイムラインを表示するステップを含み、前記プロジェクトプランタイムラインは1つ以上のタスクと、1つ以上の時間単位を含むタイムラインとを含み、前記方法はさらに、

前記表示されたプロジェクトプランタイムライン上に自動可変ズームを呼出すための指示を受信するステップと、

条件を受信するステップと、

前記条件に基づいて前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の時間単位についての1つ以上のスコアを計算するステップと、

前記1つ以上の計算されたスコアに基づいて前記プロジェクトプランタイムラインの1つ以上の部分についてのズームレベルを調整するステップとを含む、コンピュータによって実現される方法。

【請求項14】

自動可変ズームを提供するためのシステムであって、

ユーザインターフェイス内にプロジェクトプランタイムラインを表示するように構成されたプロジェクトプランタイムライン画面表示モジュールを含み、前記プロジェクトプランタイムラインは、1つ以上のタスクと、1つ以上の時間単位を含むタイムラインとを含み、前記システムはさらに、

前記表示されたプロジェクトプランタイムライン上に自動可変ズームを呼出すための指示を受信するように構成された指示受信モジュールと、

条件を受信するように構成された条件受信モジュールと、

前記条件に基づいて前記プロジェクトプランタイムラインの前記1つ以上の時間単位についての1つ以上のスコアを計算するように構成されたスコア計算モジュールと、

前記1つ以上の計算されたスコアに基づいて前記プロジェクトプランタイムラインの1つ以上の部分についてのズームレベルを調整するように構成されたズームレベル調整モジュールとを含む、システム。